

人をつなぐ・未来につなぐ「さが棚田だより」

さが棚田



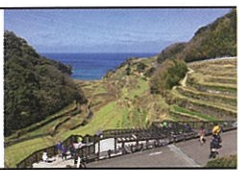
今日も棚田で
笑い声が響きます。

EVENT CALENDAR

★ 棚田イベントカレンダー ★

3.16 真鯛満喫ウォーク

場所/浜野浦の棚田周辺～海上温泉パリア(玄海町)
問合せ/唐津観光協会玄海オフィス
☎0955-51-3007



4月 天川しゃくなげ祭り

場所/旧天山発電所展示館広場(唐津市厳木町)
問合せ/天川しゃくなげまつり実行委員会
☎090-1870-1709



3月▶4月 (開花時期)

ジラカンス桜写真コンテスト

場所/武雄市若木町川内区
問合せ/若木公民館 ☎0954-26-2004



5月 肥前町棚田ウォーク

場所/入野棚田周辺(唐津市肥前町)
問合せ/唐津市肥前市民センター産業課内肥前町棚田ウォーク
実行委員会事務局 ☎0955-53-7145



6月 早苗と棚田ウォーク

場所/葦野の棚田(唐津市相知町)
問合せ/相知市民センター産業課
☎0955-53-7125



イベント内容は2019年3月時点での予定であり、予告なく変更される場合があります

佐賀県の棚田イベントなど詳しくは [佐賀県の棚田](#) [さが棚田ネットワーク](#)



- ... 棚田ボランティアを募集している棚田
- ... 棚田ボランティアを実施している棚田
- ▲ ... 日本の棚田百選に選ばれた棚田

棚田オーナー募集!! (平成31年度)

棚田名	会費	内容	特典
金吾棚田	20,000円	米づくり・農業体験	米60kg、野菜づくり体験 など
金吾農園	☎090-3986-2986		
岳の棚田	20,000円	田植え・稲刈り	米30kg、地元特産物
岳信太郎棚田会	☎0955-46-2248		

佐賀県 農林水産部 農山漁村課
〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59 TEL0952-25-7124 FAX0952-25-7284
✉nousangyoson@pref.saga.lg.jp

Copyright © 2019 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

人をつなぐ・未来につなぐ

「さが棚田だより」

2019:spring
春号

contents — 目次 —

03 なかお 中尾の棚田 × JAさが みどり地区たら支所

04 ひらの 平野の棚田 × プライム

05 たけ 岳の棚田 × 原田

06 はらあけ 原明の棚田 × まんてん

07-08 やまだ 山田の棚田 × さ でん こう 佐電工 / おおはし 大橋

09 棚田の講演会

10 棚田ボランティア団体の募集

11-12 佐賀県 ふるさと水と土指導員

13-14 農山漁村活性化の優良事例に選定

日本の原風景を今に残す棚田。
佐賀県にも、日本の棚田百選たなひゃくせんに選ばれた6地区をはじめ、多くの棚田が人々の手により、守り受け継がれています。秋は実りの時期、そして収穫を感謝する季節です。多くの人々を呼びこみ、そして楽しんでもらおう——棚田という宝物を次の世代へ「つなぐ」ために。



案山子(かかし)コンテスト / 中尾の棚田(太良町)



上/田植え機で植えそこなった部分には、人の手で苗を植えます
右下/地域の方と一緒に昼ごはん。労働のあとのごはんはおいしい!

Volunteer Voice

屋外の作業は、気持ちをリフレッシュしてくれます

社員同士の絆を深め、さらに家族同士の交流の場としても棚田は最適な場です。この経験が仕事に好影響を与えて、新しい発想やアイデアにつながることを期待しています。



総務部長
一番ヶ瀬博史さん


株式会社 プライム

Webサイトやアプリの企画、開発、制作、運営などICT事業のほか、パソコン研修やマナー講座などの教育事業を広く展開しています。

Tanada Voice

昔話に出てくるようなのどかな風景が残る「平野の棚田」


米の登熟期に朝晩の気温差が10度以上あるため、もっちりうまみのあるお米が育ちます。5月から6月にはツツジや山アジサイが美しいですよ。ぜひ、遊びに来て下さい。



平野の棚田 多州市西多町平野地区

イベント:
棚田米は「福船の里」にて販売しています

平野棚田米保存協議会 会長 小園敏則さん

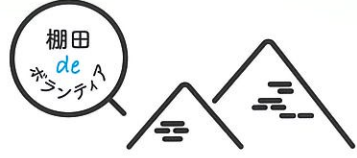



機械が入らない場所は手作業。
初めての農業体験で、
新しい可能性が広がる

平野の棚田 × プライム



上/毎年大勢でにぎわう、案山子(かかし)コンテストの運営のお手伝いを行っています
右下/当日の参加者が手掘りをしやすくするために、あらかじめツルを刈っておきます




中山間地の農業の苦労を
自分のコトとして考えるのは、
営農を知る農協だからこそ

中尾の棚田 × JAさがみどり地区たら支所

Volunteer Voice

お手伝いさせてもらい、感謝しています

数年前に、佐世保市から海外の方を農業体験に呼び込みはじめた頃からお手伝いさせてもらっています。終わったあとは疲れますが、大変と感じることは全然ないですね。棚田保存会のおかげで田んぼも保たれています。



たら支所 支所長
田中修二さん


JAさがみどり地区たら支所

佐賀県農業協同組合(JAさが)の、武雄市、嬉野市、鹿島市、藤津郡太良町及び杵島郡の一部を管轄としています。

Tanada Voice

秋の収穫祭は、みかんや棚田米や野菜のお土産の大盤振る舞い!



中尾の棚田へは、鹿島市から多良岳オレンジ海道を走ります。川原の信号を通り過ぎ、最初に現れるトンネルに入らずに直前で右折。あとは看板に従ってクルマで山を登っていくと広大な棚田が現れます。



中尾の棚田 藤津郡太良町中尾地区

イベント:
農業体験や棚田米のオーナー制度、農家民泊など

中尾地区棚田保存会 木下照敏さん



ボランティアにとどまらない 棚田での出会いは 新たなアイデアの宝庫

原明の棚田 × まんてん



上/初めて使うエンジンの刈り払い機。しばらくするとコツがつかめて刈り込みに夢中に
右下/地元の方の手づくりのカレーは、絶品の味で「おかわり!」の声も出ました

Volunteer Voice

有田ブランドの商品がくれたらいいですね

今回は草刈り機を使って棚田の草刈りを行いました。初めての体験で短い時間でしたが、こんなに腰に疲労がたまるとは思っていませんでした。原明の棚田で有田ブランドの商品ができるとういなど考えています。

代表取締役社長
高尾秀樹さん

株式会社 まんてん

佐賀市に拠点を置く、健康でありつづけたいと願う世界の人々に向けて胡麻を原料とする加工食品の製造や販売を行う会社です。

「草刈り機の回転する刃には、切れる方向があるんだよ」と楽しそうに話す、同社代表の高尾さん。数列に分かれて刈りはじめ、しばらく経つと、草だらけだった広い棚田は、みるみるうちに刈り取られ「手入れされた田んぼ」の雰囲気変わっていききました。

棚田も、生き残りをかけて、あらゆる方向でのビジネスを考えていかないといけない時代といえます。「海外産が多い胡麻を国内・佐賀で。特に有田という『やきもの』のブランドが認知されている地域で栽培が行えればいいと思います。特に棚田でできた素晴らしいですね!」と夢が広がります。

10月21日、秋の晴天で谷間に抜ける風が心地よい有田町の原明の棚田で、草刈りのボランティアが行われました。まずは草刈り機の使い方のレクチャー。「高速で回転する刃物は地面の近くにとどめ、決して高く上げない」など、実践的な使い方を伝授してもらいながら、ソロソロ刈り始めます。

胡麻を原料とする加工食品の製造や販売を行う、株式会社まんてんは、佐賀市にある会社です。今回は同じ食品を扱う会社ということもあり、棚田でのボランティアに参加を決めました。

Tanada Voice

「原明の観音さま」に守られる、有田の棚田

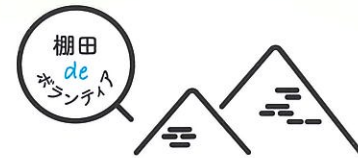
佐賀県有田町と長崎県佐世保市の県境に位置する原明の棚田。整備された圃場では通常農法でつくのお米の他に、自然農法米も耕作されており、「原明の観音さま」は地区の人々に大切にされています。



原明の棚田 西松浦郡有田町原明地区

イベント:
※棚田ボランティアを募集中

原明中山間地組合 代表 力武舞一郎さん



草刈り作業で体を動かし、 汗を流す爽快感 従業員同士の交流も深まります

岳の棚田 × 原明



上/子どもたちも下草刈りをお手伝い。秋の福刈り後の広々とした田んぼで遊ぶ楽しさも伝えたい
右下/草刈り機を抱えての斜面の下草刈りは一苦労

Volunteer Voice

新しいことにチャレンジするきっかけになれば

棚田ボランティアにチャレンジしたことで、今までと違った楽しい経験ができたと思います。この経験を仕事や遊びに生かして、何事にもチャレンジしてほしいですね。自分も含め、みんな良い経験になったと思います。

代表取締役社長
原田一秀さん

原田株式会社

1949(昭和24)年創立。紙の卸商からスタートし、現在は食品トレーなど紙製品のほか、オフィス家具や、OA機器などの事務機器を扱う。

紙製品や事務機器を扱う原田株式会社は6月、標高約400m、長崎県との県境にある岳の棚田で草刈りを手伝いました。かねてから仕事以外で従業員同士の交流を深める場を探していたところに、親交のある佐賀市の観光ホテル・千代田館さんから誘われ、ボランティア事業への参加を決めたそうです。当日は、子ども4人を含む本社と佐世保営業所の従業員16人が参加。翌日は全身が筋肉痛になり、改めて棚田での作業の大変さを実感したそうです。当日は晴天に恵まれ、汗が吹き出るほどの陽気でしたが、「体を動かして汗を流した爽快感は格別だった」と原田社長は振り返ります。

作業後は、棚田が見下ろせる場所でパーベキュー。棚田米のおにぎりをほお張りながら、従業員も子どもたちも「楽しかった」「またやりたい」と口々にし、従業員同士の交流も深まりました。

これまではまだ眺めていただけの棚田に足を踏み入れたことで、岳地区にも親近感がわきました。「やってみたいと分らないことや、人と人の関わり得ることはいつばいある」と、原田社長は、今後とも棚田地区との交流を続けたいと考えています。

Tanada Voice

有田から伊万里まで一望できる景観が自慢の「岳の棚田」

先人たちが血のじもいいてつくった農地と、美しい棚田の景観を、これからも守り伝えたい。ぜひ岳の棚田に来てこの景観を見て下さい。そして、できればTシャツアート展や農業体験などに参加して下さい。

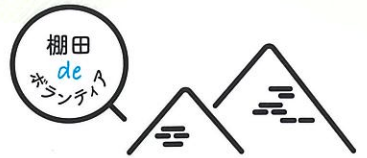


岳の棚田 西松浦郡有田町岳地区

イベント:
※棚田ボランティアを募集中

岳の棚田環境協議会 副会長 前田好弘さん





秋に咲く大輪のヒマワリ その美しさを支える 棚田での地道な作業を知る



上・左下／今回は、㈱佐電工と、㈱大橋と共同でボランティア作業を行いました
右下／株式会社佐電工のメンバーや地元のメンバーも混じって、一枚づつ順番に作業を行う

山田の棚田 × 佐電工
大橋



上／ひまわりの苗を傷つけないように雑草を取り除き、台風に向けて土を盛る作業を行いました
左下・右下／作業が終わったあと、公民館で昼食。有名な「綾部のぼたもち」は出来たて!!



Volunteer Voice

意外と大変でしたが、手足を動かす作業は心地よかったです。
本来の予定日であれば十数人の参加のはずでしたが、予定外の台風や降雨によるボランティア作業の順延で、参加人数が少なくなりました。作業後に振る舞っていただいた食事が美味しかったです！
管理本部 管理課 次長 千綿幸一さん



株式会社 佐電工

あらゆる施設の電気設備工事、空調・管工事、電力供給設備工事や無線基地局の建設工事、メンテナンス工事など、業務は多岐に及びます。

みやぎ町の北部、脊振山系の東部に位置する寒水川沿いの棚田地域である山田地区。9月の終わり、この山田の棚田の除草作業に株式会社佐電工と株式会社大橋の社員がボランティアとして参加しました。山田の棚田では毎年10月下旬から11月中旬にかけて季節外れのひまわりの開花を見る事が出来ます。晩秋の青空に鮮やかな大輪の花を咲かせる見事なひまわり園は、毎年県外からも多くの観光客が訪れており、町の観光スポットとなっています。夏に咲く品種と違い、秋に咲くひまわりは毎年タネを植えなければなりません。さらに、草刈りや発育管理など多くの手間がかかるのだそうです。㈱佐電工は、佐賀市に本社を置く総合設備工事会社です。当日参加した社員は、普段の仕事はオフィス勤務で外で作業を行うことは少ないそうです。「見た目は地味な作業でしたが、意外と大変でした。でも作業が終わった後の食事がおいしかった!」と参加された千綿さん。畑で土に触れ、地元の方々と話をすることで普段とは違う貴重な体験ができたそうです。

Volunteer Voice

良い体験ができて、本当によかったです。
私たちの会社は、業務用チップシュレッダーの設計と製造を行う会社で国内はもとより海外へも販売展開しています。製品が使われる環境を考えると無関係ではないので、良い経験になりました。
代表取締役社長 大橋弘幸さん



株式会社 大橋

粉砕機・チップシュレッダーの設計から製造、販売を自社で行い国内トップクラスのシェアを誇る。本社は神埼郡千代田町。

株式会社大橋は、樹木の伐採を行う業者などに向け、伐採した木や竹を細かく砕く、粉砕機・チップシュレッダーの設計と製造を行う会社です。創業30年になる当社は神埼郡の千代田町に本社を構えています。この棚田ボランティアには多くの社員が参加する予定でしたが、雨や台風などの通過により数回の順延となつてしまい、さらに会社の繁忙期に重なつてしまったため4名の参加となりました。作業は除草と、台風対策でひまわりの苗が倒れないように土寄せを行うことです。単純な作業ですが、広い畑なので、地元の方だけで作業を行う場合は長い時間がかかりますが、今回はボランティアのおかげで午前中で作業を終えることができました。自分たちの手で手入れをした山田のひまわり園。「秋になり、キレイなひまわりが咲くのが楽しみになりました」と参加された大橋さんは語ります。秋のひまわり園は多くの人でにぎわいますが、花を育てるための苦労は、なかなか伝わらないそうです。代表の眞子さんは「見に来るだけでなく、実際に作業を体験してもらい、少しでも棚田の苦労を知ってもらえて嬉しかったです。」と笑顔で語っていました。

Tanada Voice

大人数の作業で、非常に助かりました。
他の棚田地区と同じように、高齢化などで人の手が足りず大変なので、非常に助かりました。今回は台風などでボランティア日程の確定が難しかったのですが、なんとか開催できてホッとしています。



山田の棚田 三養基郡みやぎ町大字養原
イベント：毎年11月に季節はずれの「秋のヒマワリ」が見頃を迎えます
山田のひまわり園 代表 眞子生次さん



平成30年度
棚田を活かす研修会及び
検討会が開催されました



講演
山路 永司氏 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授、棚田学会会長

テーマ
農村景観の保全と顕彰 ～景観で飯を食う時代に向けて～

12月3日、グランデはぐくれ(佐賀市)で「平成30年度 棚田を活かす研修会及び検討会」(主催・さが棚田ネットワーク・佐賀県農山漁村課)を行いました。棚田学会会長を務める東京大学大学院新領域創成科学研究科の山路永司教授を講師に招き、「農村景観の保全と顕彰 ～景観で飯を食う時代に向けて～」をテーマに講演をしていただきました。

1995年世界遺産に登録されたフィリピンの「コルディレラの棚田」は、若者の都会流出で耕作放棄地が増えました。一時は危機遺産リストに登録されましたが、支援を受け復活したことを例に、景観維持の必要性を示しました。景観を守る方法として、都市住民が直接農作業に関わることで棚田を保全していく「棚田オーナー制度」について紹介。「参加する地域住民が活性化効果を感じ

積極的に参加意向を示す一方で、不参加者には関心と理解度の低さが見られる」と問題も指摘し、改善のためには「宣伝活動の見直しや、多様な参加形態があることを示す必要がある」としました。

「景観を地域独自のものと捉えた時、ガイドラインとなるのは世界遺産のようなブランドです」と山路教授。世界農業遺産や日本農業遺産などに認定されれば、それがすぐれた景観であると認知されることの助けとなるといいます。

こうした景観を保全する活動が「地域を活性化させることができるのか」ということについては「すぐれた景観で直接利益を生み出すことは難しいもの、それを作り出すプロセスこそが地域おこしである」と話し、それが可能であると話しました。

美しく豊かな棚田を未来へつなぐために

佐賀県は、企業や各種団体などの
棚田ボランティアを随時募集しています

棚田は、豊かな自然環境や水資源のかんよう、洪水の防止など「たのん(たのしみ)のちから多面的機能」を持っています。しかし、過疎化や高齢化などにより耕作放棄地が増えるとともに、営農や棚田の保全が危ぶまれており、多面的機能が失われつつあります。そこで、企業や団体などによる棚田ボランティアを募集しています。美しく豊かな棚田を未来につなぐために、ぜひご参加ください。



平成29年度の協定締結式



主な活動内容

- 草刈り、農作業の手伝い
- 耕作放棄地復元作業、休耕地への景観作物植栽等の手伝い
- 棚田オーナー制への参加
- 棚田地域におけるイベントの共催
- 棚田地域の自然や特産品など地域資源を生かしたビジネス提携

※活動については、受け入れ先(棚田地域)との調整(マッチング)を行い双方の合意の基で活動を実施していただくことになります。活動を計画的かつ継続的に行うため、双方による協定書を締結します。

お問い合わせ
佐賀県 農林水産部 農山漁村課
〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59 TEL0952-25-7124 FAX0952-25-7284
✉ nousangyoson@pref.saga.lg.jp

棚田ボランティア協定締結一覧(平成30年4月現在)

棚田名	企業・団体名	ボランティア内容	活動	掲載
苜木(ちやのき)	㈱技術開発コンサルタント	農作業の支援、イベントの参加	H29～	-
	朝日テクノ㈱	農作業の支援、イベントの参加、草刈り作業	H29～	-
	佐賀県農業土木振興会	草刈り作業	H29～	-
中鶴(なかのつる)	NTT西日本佐賀支店	草刈り作業	H29～	-
	平野(ひらの)	我楽多会(がらくたかい)	草刈り作業、イベントの支援	H29～
江里山(えりやま)	㈱プライム	農作業の支援、棚田米販売支援	H30～	P04
	㈱多久ケーブルメディア	農産物やイベントなどの広報支援	H30～	-
山田(やまだ)	医療法人ひらまつ病院	イベントの参加、農作物の購入支援、棚田の広報活動支援	H29～	-
	西日本総合コンサルタント㈱	草刈り作業支援	H29～	-
天川(あまがわ)	㈱佐電工	ひまわりの播種作業、イベントの参加	H30～	P07-08
	㈱大橋	ひまわりの播種作業、イベントの参加	H30～	P07-08
藤野(ふじの)	グリーンコープ生活協同組合さが	棚田米の生産支援、棚田地域の保全活動、イベントの運営補助	H29～	-
	㈱精工コンサルタント	草刈り作業、イベント支援	H29～	-
炭山(すみやま)	㈱トップコンサルタント	草刈り作業、イベント支援	H29～	-
	グリーンコープ生活協同組合さが	イベント支援	H29～	-
金吾(きんご)	伊万里ケーブルテレビジョン㈱	営農支援	H29～	-
	和靴(わこうじ)	営農支援	H29～	-
立部(たちべ)	西部道路㈱佐賀支店	道路や水路の補修活動支援、草刈り作業	H30～	-
	社会福祉法人桑梓舎(そうししゃ)	農作業の支援	H30～	-
原明(はらあけ)	学校法人佐賀星生学園	玉ねぎ収穫支援	H30～	-
	㈱まんてん	草刈り作業、コマ栽培支援	H30～	P06
中尾(なかお)	岳(たけ)	農作業の支援、イベントの参加	H30～	-
	原田㈱	農作業の支援、イベントの参加	H30～	P05
JAさが みどり地区太良支所	田島興産㈱	イベントの支援	H30～	-
	JAさが みどり地区太良支所	イベントの運営補助	H30～	P03



topics

佐賀県ふるさと
水と土
指導員とは？

棚田や水路・ため池などの農地や農業用施設の保全を目的とした地域住民活動を推進し、指導・助言などを行う地域リーダーです。
市町長の推薦により、県内で31名の方々を認定しています。
(平成30年9月現在)



地域のみんなで育てる ふるさとの未来人

晴田地区の実習活動

小城市晴田地区

天山の頂上から晴気川にそって広い範囲をカバーする晴田地区。川沿いの晴気地区とその周囲の香田地区が一緒になって「晴田」という名前になりました。
この地区では昔から「晴田地区青少年健全育成会」という、地域の子もたちの健全育成のために、小学校や自治会が協力し、農業体験や球技大会、史跡探訪などを行っており、それぞれの内容によって専門の『先生』の立場になる地域の人々がそろっています。

ふるさと水と土指導員の大家さんも、かつて自身の子もたちがお世話になった『地域の先輩』と同じように地域の子もたちを教える立場になったそうです。
5月は川魚釣り・6月は田植えやイモ挿し(イモの苗を植えること)・10月は稲刈り・11月はイモ掘りやミカン狩り・12月は餅つきなどを行いました。



それぞれの活動は、小城公民館晴田支館を中心に晴田小学校や実習畑などで行っていますが、学校の授業として扱われている内容もあるので、参加する子どもたちは保護者も含め100名を超える場合もあるそうです。
年末が近づくと手作りのしめ縄・門松づくりに、たくさんの子もたちが参加。12月13日に行われた餅つきでも、小学1年生から6年生とその両親・祖父母などが集まり冬の寒空の中ワイワイにぎわいました。



大家 和義さん (小城市)

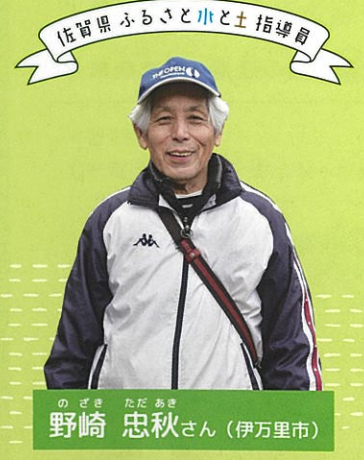
結の精神が息づく故郷 誇りに思う気持ちを育む

駒鳴地区の体験活動

伊万里市駒鳴地区



松浦川の上流部、山間に田園風景が広がる伊万里市大川町駒鳴地区。「昔は、年齢が違う子どもたちが遊ぶ中でルールを学び、故郷に対する愛着も育んでいました」と野崎さん。今は「危ないから…」と外で遊ぶ姿はなく、故郷を知る機会が減っていると感じています。「体験が大切」の信念のもと田舎暮らし体験ができる民泊を営む野崎さんは昨年、遊休農地を使って同地区の子も会や保護者などと一緒にそばづくり体験を行いました。
8月下旬に種まき。下草刈りは4回ほど。成長したそばが倒れないように土寄せを行いました。12月はそばの実を手摘みで収穫。そば打ちは駒鳴地区から車で約30分、棚田の美しい景色が望める炭山地区の農業体験センターで行いました。「力を合わせれば27戸の農家でも棚田を守ることを知ってほしかった」と野崎



野崎 忠秋さん (伊万里市)





秋に咲くひまわりで農村を元気に! 山田のひまわり園

みやき町

国内観光 / 自然・景観・伝統 / 女性の活躍

<取り組み>

- ◎H12年に18人のグループで「中山間地山田集落組合」を組織。同組合がH13年に20aの棚田に、珍しい風景を目指して2万本の「秋に咲くひまわり」を作付け。
- ◎その後、「山田のひまわり園」として、町の新観光名所となるよう、毎年10月下旬までに60aに10万本のひまわりを栽培して一般公開。
- ◎「ひまわり園」開園中は来訪者に棚田米など農産物を販売するほか、町商工会が饅頭や弁当、ぼたん汁を販売。

<活動成果>

- ◎秋に咲くひまわりと紅葉とのコントラストを楽しみに年々都市部からの観光客が増加。H29年は2万人以上が来訪。
- ◎組合員の8割は75歳以上ではあるが、農作物やプローチ、キーホルダーなど手作りの小物販売などで意欲が出て、都市住民との会話を楽しむなど、地域全体に活気が戻ってきた。
- ◎労働力不足を補うため、県の棚田ボランティア事業を活用し、H30年度は企業2社からボランティアを受け入れ、企業との交流で事業の持続性を確保したい。



山田のひまわり園

佐賀県三養基郡みやき町蓑原4903
☎0942-94-2179



地域資源を活用! 農業のテーマパークづくり 有限会社 西山田農園

佐賀市

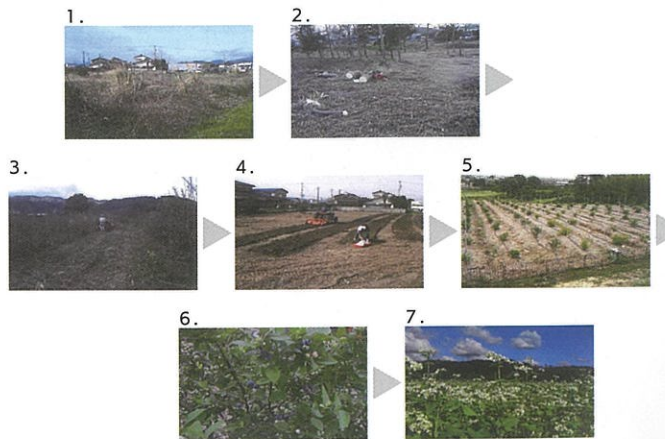
農山農村体験 / ジビエ / 6次産業化

<取り組み>

- ◎代表は建設会社を営む。耕作放棄地の整備を依頼されたのがきっかけで、農業を始めることとなり、H17年に地元町おこしグループの仲間と当社を設立。
- ◎以来、再生農地を拡大。ブルーベリー、そば等を延べ290a栽培。果物や野菜の収穫体験やそば打ち等の体験を受け入れ、漬物などの加工品の開発・販売も実施。
- ◎「イノシシ加工施設」を建設し、佐賀の山間地で獲れたイノシシの加工品を開発・販売。

<活動成果>

- ◎これらの取り組みを通じて若手農業者グループや、農業での起業を目指す人たちのつながりや連携が生まれた。
- ◎地域の行事に積極的に協力することによって、地域住民の地元資源の再発見や地域への愛着の醸成にも貢献。
- ◎観光農園事業の取り組みは、マスコミ取材を度々受け、地域の魅力発信に貢献。観光農園や各種体験のH29年度の受け入れ数は3,800人。うち140人は訪日外国人であり、近年、外国人利用者も増えた。



有限会社 西山田農園

佐賀県佐賀市大和町川上1955-1
☎0952-62-1226

農山漁村活性化の優良事例に選定

九州農政局『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』に 佐賀県から3事例が選定されました。



九州農政局長(中央)とすみやま棚田守る会木寺代表(右)、山田のひまわり園圓子代表(左)

農林水産省は、「ディスカバー農山漁村の宝」として農山漁村活性化の優良事例を選定し全国に発信しています。

「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、日本各地の農山漁村が持つ能力を引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

地域で新たな需要の発掘を行ったり、埋もれていた地域資源の活用を行うことで農林水産業や地域の活力を生み出す次の3つの取り組みが選定の対象となっています。

- ①美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ②幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

平成30年度の今回は九州農政局管内から応募のあった170団体のうち、九州農政局の優良事例として17団体が選定されました。佐賀県からは「すみやま棚田を守る会」「山田のひまわり園」「有限会社西山田農園」が優良事例として選定され、九州農政局にて選定証の交付を受けています。

伊万里市



地元企業との連携で棚田が元気に! すみやま棚田守る会

農山農村体験 / 企業等との連携 / 6次産業化

<取り組み>

- ◎棚田の整備が完了した平成14年、地元企業や学校との連携による地域活性化を目的に炭山地域の農業者により設立。
- ◎以降、棚田に彼岸花などを栽培する景観形成、地元小学生対象の田植えなどの農業体験、そば打ち体験や地元料理の提供などによる都市農村交流、ケーブルテレビや地元印刷会社と連携した情報発信を推進。
- ◎地元酒蔵と連携した棚田米を用いたお酒を製造し販売。

<活動成果>

- ◎棚田を整備し、市や地元企業と連携イベントを開催したことで横のつながりが広がり、町全体に活気がでてきた。小学生との交流事業により、子どもたちの心の教育の一助に。
- ◎ケーブルテレビなどでの情報発信に努めたことで視察団やイベントの参加者が増え、地域活性化につながった。
- ◎棚田コラゴ商品のお酒が海外で行われた日本酒品評会で金賞を受賞し、棚田米生産農家や地元酒蔵の売上や生産量が増加した。



すみやま棚田守る会

佐賀県伊万里市二里町中里甲2223
☎0955-23-3776